

科目名	臨床作業療法演習Ⅱ			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
臨床実習で必要な技能の習得を目的とします。前期で学習した収集した情報から記録・レポート作成の復習、およびレジメの作成と発表までの臨床現場で求められる言動について理解し、実際に行動できることを目的にします。							
〔授業全体の内容の概要〕							
身体障害の各々の事例を通して記録・まとめ・発表・質疑応答の演習を行います。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
・臨床（評価）実習で活用できる言動・記録ができること。・シナリオ学習（小グループ演習）を通して、能動的な学習姿勢を身につけることができる。シナリオ学習（小グループ演習）を通して、疾病の回復段階とその理由、OTの目的と役割を述べることができる。・シナリオ学習（小グループ演習）を通して、適切にICFに情報整理を行うことができる。・シナリオ学習（小グループ演習）を通して、OTとしてアプローチする問題を、1～2つに焦点化できる。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション、復習（評価の流れ）、記録法の基本						
2	身体障害分野：観察記録（演習）						
3	身体障害分野でのシナリオ学習（評価の演習）①						
4	身体障害分野でのシナリオ学習（評価の演習）②						
5	身体障害分野でのシナリオ学習（評価の演習）③						
6	身体障害分野でのシナリオ学習（評価の演習）④						
7	身体障害分野でのシナリオ学習（評価の演習）⑤						
8	身体障害分野でのシナリオ学習（評価の演習）⑥						
9	身体障害分野でのシナリオ学習（評価の演習）⑦						
10	身体障害分野でのシナリオ学習（評価の演習）⑧						
11	身体障害分野でのシナリオ学習（評価の演習）⑨						
12	身体障害分野でのシナリオ学習（評価の演習）⑩						
13	身体障害分野でのシナリオ学習（評価の演習）⑪						
14	身体障害分野でのシナリオ学習（評価の演習）⑫						
15	身体障害分野でのシナリオ学習（まとめ）						
	定期筆記試験						

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
作業療法臨床実習とケーススタディ	市川和子	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする